

## 東京港でCONPAS<sup>®</sup>を活用したコンテナ搬出入予約制事業を実施

東京都港湾局、東京港埠頭株式会社、一般社団法人東京港運協会及び国土交通省関東地方整備局では、関係者の協力のもと、東京港大井ふ頭の以下のターミナルにおいて、CONPAS<sup>®</sup>を活用したコンテナ搬出入予約制事業を実施いたしました。

令和5年度は予約制を利用したトラックの台数が延べ約2万台となり、昨年度から約3.6倍に増加するなど関係者の協力により取組が拡大したところです。

また、実施期間中は予約車の平均ゲート前待機時間が短縮するなど、一定の効果が確認できております。

引き続き関係者のご意見も踏まえながら、令和6年度以降もCONPAS<sup>®</sup>を活用したコンテナ搬出入予約制の推進に向けて取り組んで参ります。

<実施ターミナル> ※詳細は別紙のとおり

①大井1・2号ターミナル

借受者：川崎汽船株式会社

ターミナルオペレーター：株式会社ダイトコーポレーション

②大井3・4号ターミナル

借受者：株式会社商船三井

ターミナルオペレーター：株式会社宇徳

③大井6・7号ターミナル

借受者：日本郵船株式会社

ターミナルオペレーター：株式会社ユニエックス NCT

※CONPAS<sup>®</sup>は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステムです。

<発表記者クラブ> 東京都庁記者クラブ・竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

<東京港における予約制事業に関する問い合わせ先>

東京都 港湾局 港湾経営部 振興課長 浅田 電話：03-5320-5545 都庁内線：43-240

東京港埠頭株式会社 営業企画部 営業企画課長 白石 電話：03-3599-7311

<CONPAS<sup>®</sup>に関する問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

室長 雨宮、課長補佐 飯塚 電話：045-211-7437 メールアドレス：info-i83ab@mlit.go.jp

実施主体：東京都、東京港埠頭(株)及び(一社)東京港運協会  
 協力：国土交通省関東地方整備局  
 実施ターミナル：大井1・2号ターミナル、大井3・4号ターミナル、大井6・7号ターミナル  
 参加店社：第4期(関東各トラック協会海上コンテナ部会加盟店社)  
 第5期(本事業への参加を希望する全ての店社)  
 実施時期：第4期(令和5年8月~10月)、第5期(令和6年1月~2月)  
 ※第1期から第3期は令和4年度に実施

【参考：位置図】



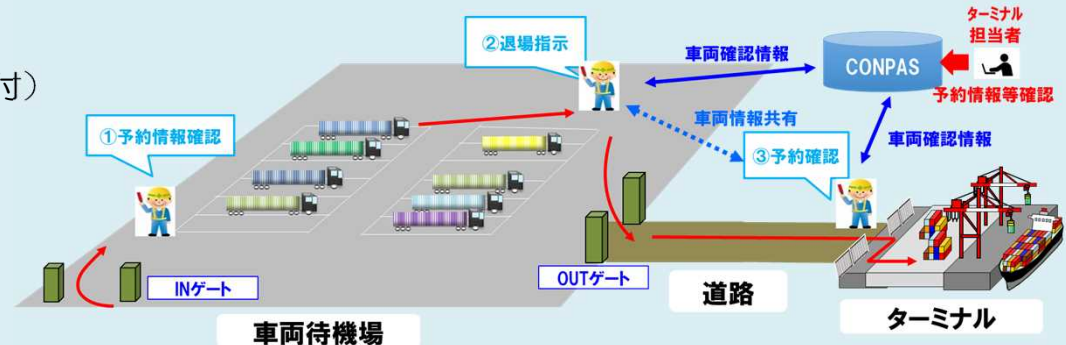
## <CONPASを活用した予約制事業の目的>

- CONPASを活用した搬出入予約制の導入を推進し、特定の時間帯に集中して来場するコンテナ搬出入車両を分散化
- トラックの到着時間の分散化により、ゲート前待機時間の削減
- ターミナル側も事前情報が取得できるため、効率的な荷役が可能

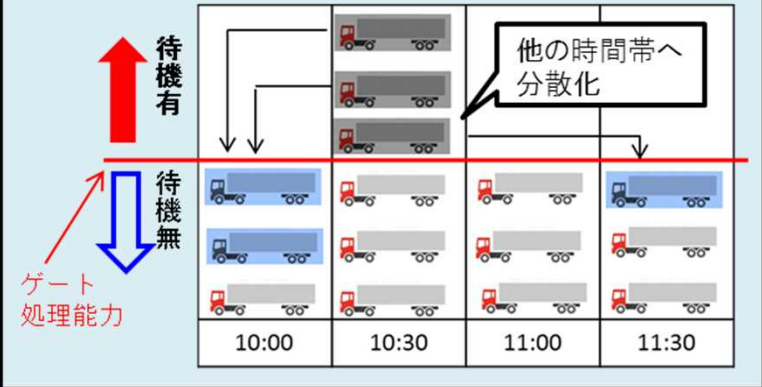
## ゲート前混雑の解消を目指す

### 予約制の一連の流れ

- ① 予約車は車両待機場に入場し、予約情報の確認(受付)  
 ※ゲート前混雑を避けるために車両待機場を活用
- ② 誘導員の指示によりターミナルへ移動
- ③ ターミナル前で予約情報を確認し、ゲートに入場  
 ⇒CONPASを通じて予約情報や車両の到着状況等をリアルタイムに確認が可能



## <予約制の導入による平準化イメージ>



# 1 取組の概要

- 東京港においては、令和4年8月からCONPASを活用したコンテナ搬出入予約制の取組を開始（令和4年度：第1期～第3期）
- 令和4年度実施結果や関係者からのご意見を踏まえ、令和5年度は実施規模の拡大と運営現場の改善を実施（令和5年度：第4期・第5期）

## 【予約制の実施規模の拡大】

### <実施ターミナル数>

- ・ 今年度から新たに大井6・7号ターミナルが参加し、**実施ターミナル数が3ターミナルに拡大**  
（大井1・2号ターミナル及び大井3・4号ターミナルは令和4年度から継続して参加）

現場における混乱を回避するため、  
段階的に実施規模を拡大

### <実施期間>

- ・ 第4期に一部ターミナルにおいて実施期間を平日10日間から**平日30日間に拡大**
- ・ 第5期は3ターミナル同時に平日10日間実施

### <参加対象陸運事業者>

- ・ 第4期：関東各県トラック協会海上コンテナ部会加盟店社
- ・ 第5期：**参加を希望する全ての陸運事業者**（273社が参加登録）

### 【東京港におけるCONPASの参加登録陸運事業者数の推移】

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
18社	47社	56社	176社	273社

※第3期までは東京都トラック協会海上コンテナ専門部会加盟店社のみが対象

## 【予約制の運営現場の改善】

### <新携帯型PSカードリーダーの導入>

- ・ 第5期から予約・保安確認時におけるターミナル係員の負担軽減や確認作業の短縮化のため、**全国で初めて新携帯型PSカードリーダーを導入**



【PS (Port Security) カード】  
国が発行する高度に偽造防止措置が  
施された身分証明書（SOLAS制限区域  
への出入管理に使用）



機器が複数台必要で確認作業が煩雑

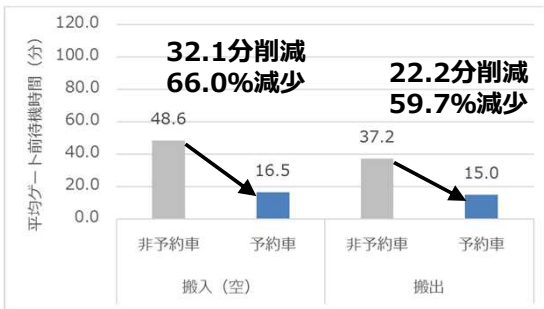


機器を一台に集約することで負担軽減へ 2

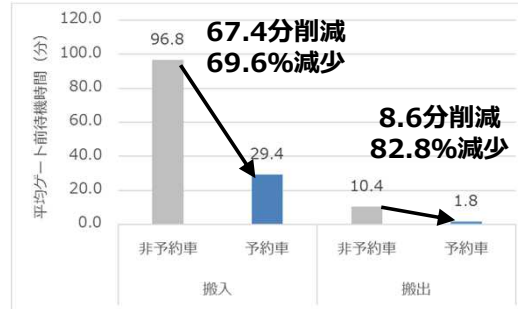
## 2 取組結果

- 令和5年度は、関係者の協力により、**予約制を利用したトラックの台数（予約本数）**が延べ約2万台（令和4年度比約3.6倍に増加）
- 第4期及び第5期を通じた**平均ゲート前待機時間※1**は、非予約車と比較し、**予約車の方が短縮**
- 利用実績が増加する一方で、第4期には、予約車が予約時間に来場しない**すっぽかし（無断キャンセル）**が増加するなどの**新たな課題が発生**  
⇒ 第5期で**ペナルティ制度を新たに導入**するなど、制度の適正運用に取り組み、一定の効果を確認
- 今後の課題としては、ターミナルが混雑している午後の予約が多く、午前中の予約が少ないことから、ターミナルが空いた時間帯の予約を促すことが必要

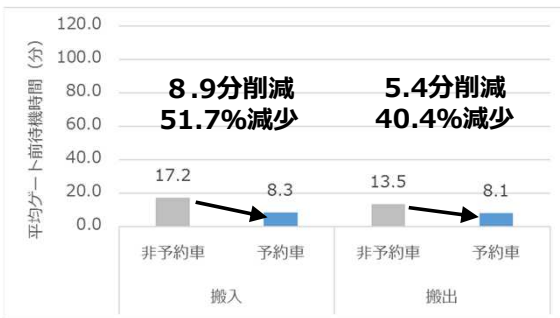
### 【平均ゲート前待機時間の削減状況（第4期及び第5期を通じた実績）】



#### 大井1・2号ターミナル



#### 大井3・4号ターミナル



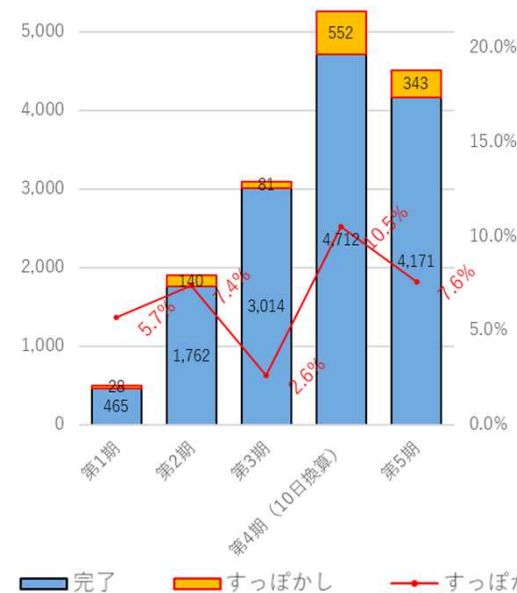
#### 大井6・7号ターミナル

#### 【効果】

予約車の平均ゲート前待機時間が短縮し、陸運事業者の業務が効率化

※1：予約車の平均ゲート前待機時間は車両待機場からゲート前までの移動時間も含む（大井3・4号ターミナルにおける搬出は待機場を経由しないため除く）

### 【すっぽかし率の推移（3ターミナル合算）※2】



#### ○ペナルティ制度の概要

- ・店社別に「すっぽかし」1件を1ポイントとして計上
- ・累計15ポイントに到達した都度、ペナルティを發動（3営業日の利用停止）

#### 【効果】

すっぽかしが減少し、予約枠の有効活用が促進

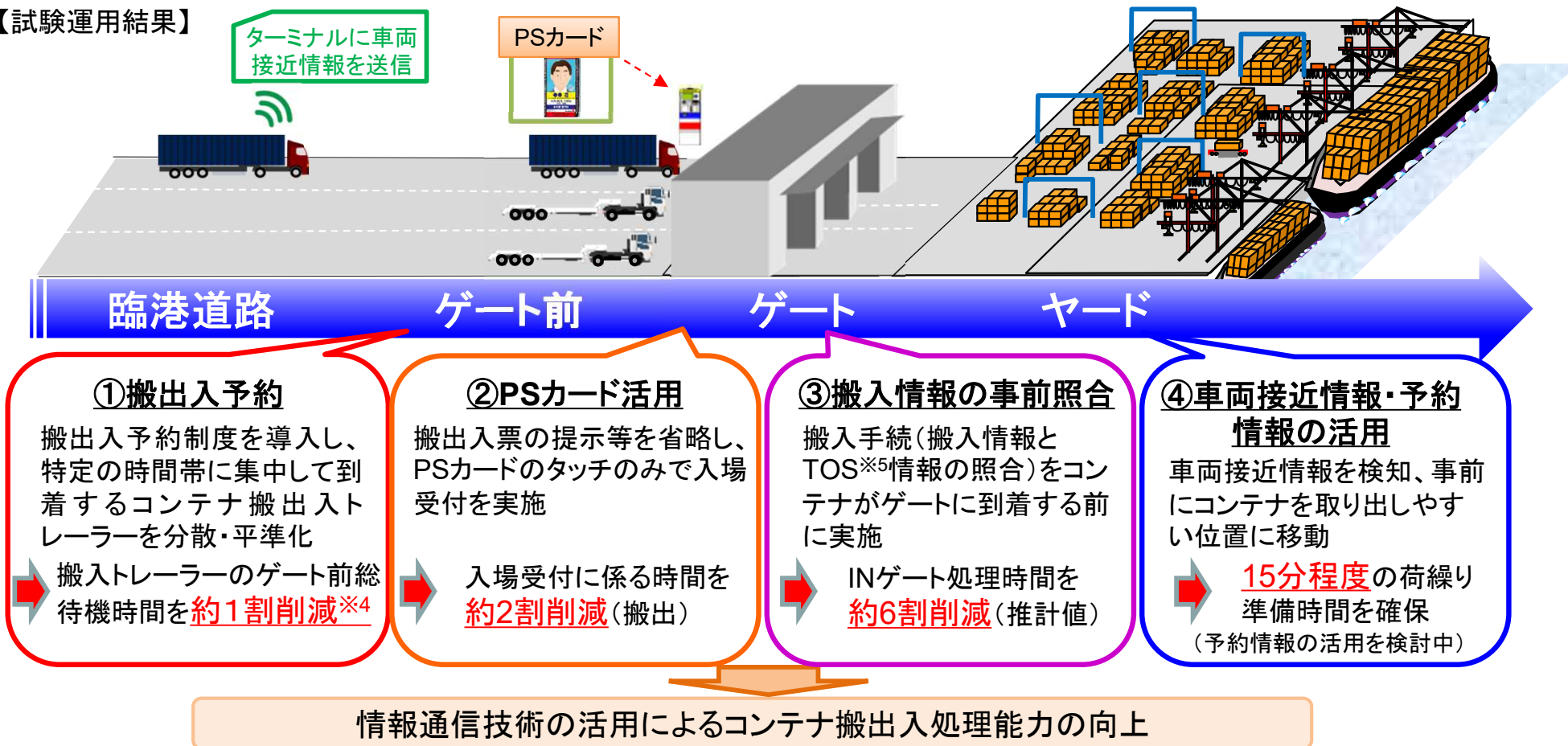
完了：予約の取得が完了し、かつ実際に来場されたもの  
すっぽかし：予約は取得したものの、予約時間に来場されなかったもの  
※2：第4期のみ大井1・2号ターミナル及び大井3・4号ターミナルは30日間実施のため、参考値として10日換算の試算値を算出

## 3 今後の展開

- 東京港においてCONPASを活用した予約制の取組を一層普及させていくためには、**実施ターミナル数や実施期間、利用する陸運事業者の更なる拡大**などが重要であることから、ターミナル事業者や陸運事業者の意向等を十分に踏まえながら、**双方がメリットを享受できる取組を推進**して参ります。
- 東京都や東京港埠頭株式会社において、**コンテナターミナル別の混雑状況の分析結果の公表**など、新たな取組などを通じて、特定の時間帯に集中するコンテナ搬出入車両の時間的な分散を更に促し、東京港の交通混雑の解消を図って参ります。

- CONPAS® ※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることで、コンテナ物流の効率化及び生産性向上の実現を目的としたシステム。
- ゲート前混雑が深刻化する中、情報通信技術の活用により、ゲート手続やヤード内荷役作業の効率化を実現するため、横浜港において試験運用を実施。
- 横浜港で2021年4月より本格運用※2を開始。
- 東京港においても2022年8月からCONPAS®を活用したコンテナ搬出入予約制事業の取組※3を開始。

## 【試験運用結果】



※1 CONPAS: Container Fast Pass の略

※2 「搬出入予約機能」「PSカード活用した受付機能」「搬入情報の事前照合機能」を常時運用すること

※3 東京港においては【搬出入予約機能】を活用して取組を開始(「PSカード活用した受付機能」「搬入情報の事前照合機能」の活用も今後検討)

※4 搬入トレーラーの14%が CONPASで予約を行った場合

※5 ターミナルオペレーションシステム

# 【参考】令和5年度東京港におけるCONPAS®を活用した予約制事業実施状況

期	場所	期間	参加登録 陸運店社数 (台数)	実施種別	予約台数	予約枠設定	予約本数 (期間内総計)
第4期	大井 1・2号 ターミナル	令和5年 8月30日～ 10月12日 ※平日30日間	176社 (5,251台)	①搬出(実入・空) ②搬入(空)	①35台/h ②15台/h	6枠/日 (1)8時～9時※、(2)9時～10時、 (3)10時～11時、(4)13時～14時、 (5)14時～15時、(6)15時～16時 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示	5,660台
	①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)			①30台/h ②40台/h	6枠/日 (1)8時半～9時※、(2)9時～10時、 (3)10時～11時、(4)13時～14時、 (5)14時～15時、(6)15時～16時、 ※ゲートオープン時間を踏まえ車両待機場から退場指示 (車両待機場を經由しない搬出を除く)  昼ゲートオープン実施日(火・水)のみ 以下の予約枠を設定 (7)11時～12時、(8)12時～13時	9,658台	
	①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)			①5台/h ②5台/h ※13時枠は各3台/h	5枠/日 (1)9時～10時、(2)10時～11時、 (3)13時半～14時、(4)14時～15時、 (5)15時～16時	158台	
第5期	大井 1・2号 ターミナル	令和6年 1月29日～ 2月9日 ※平日10日間	273社 (6,282台)	①搬出(実入・空) ②搬入(空)	【8時・13時枠】 ①25台②5台 【その他】 ①40台②20台	(第4期と同じ)	1,558台
	①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)			①20台/h ②40台/h	(第4期と同じ)	2,666台	
	①搬出(実入・空) ②搬入(実入・空)			①6台/30m ②6台/30m	9枠/日 (1)9時～9時半、(2)9時半～10時、 (3)10時～10時半、(4)10時半～11時、 (5)13時半～14時、(6)14時～14時半、 (7)14時半～15時、(8)15時～15時半、 (9)15時半～16時	319台	

# 【参考】令和4年度東京港におけるCONPAS®を活用した予約制事業実施状況

期	場所	期間	参加登録 陸運店社数 (台数)	実施種別	予約台数	予約枠設定	予約本数 (期間内総計)
第1期	大井 1・2号 ターミナル	令和4年8月22日 ～9月2日 ※平日のみ10日間	18店社 (366台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①8台/h ②5台/h	60分枠・6枠/日 (基本) (1)8時～9時※1 (2)9時～10時 (3)10時～11時 (4)13時～14時 (5)14時～15時 (6)15時～16時  昼ゲートオープン実施日のみ、 以下の予約枠を設定※2 (7)11時～12時 (8)12時～13時  ※1 ゲートオープン時間を踏まえ 車両待機場から退場指示 ※2 大井1・2号：第2～3期の 火・水曜日 大井3・4号：第1～3期の 火・水曜日	310本
	大井 3・4号 ターミナル	令和4年9月5日 ～9月16日 ※平日のみ10日間		①搬出 (実入・空)	①15台/h		183本
第2期	大井 1・2号 ターミナル	令和4年11月16日 ～11月30日 ※平日のみ10日間	47店社 (1319台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①20台/h ②10台/h		1236本
	大井 3・4号 ターミナル			①搬出 (実入・空) ②搬入 (実入)	①15台/h ②15台/h		666本
第3期	大井 1・2号 ターミナル	令和5年2月8日 ～2月21日 ※平日のみ10日間	56店社 (1510台)	①搬出 (実入・空) ②搬入 (空)	①35台/h ②15台/h		1152本
	大井 3・4号 ターミナル			①搬出 (実入・空) ②搬入 (実入・空)	①15台/h ②35台/h		1943本